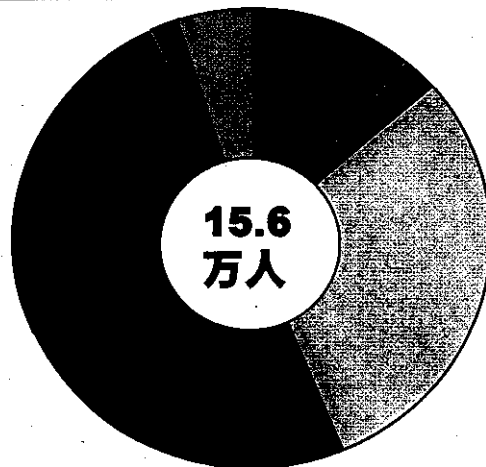
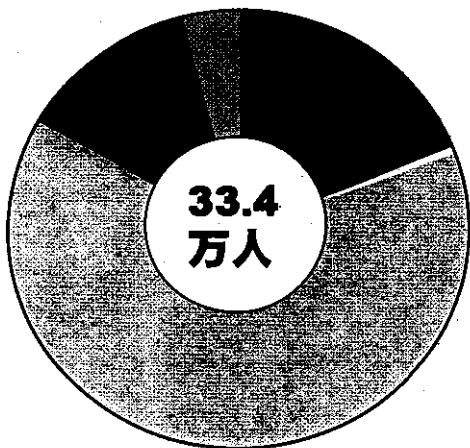


精神障害者の状況

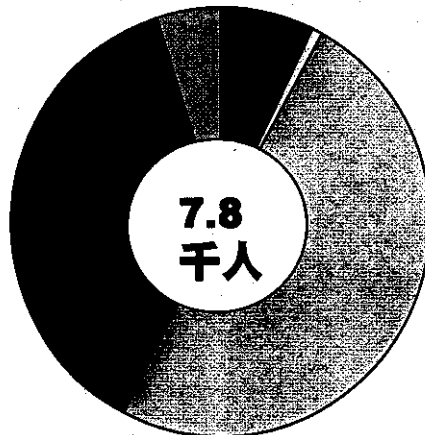
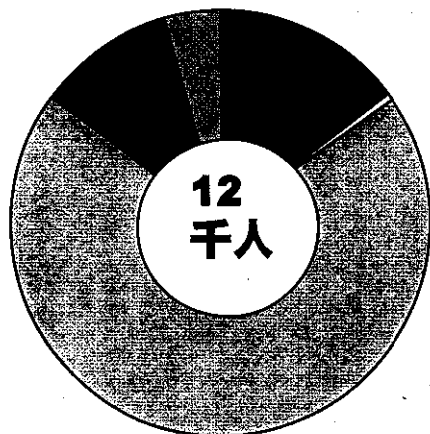
①	疾病別推計入院患者数・推計外来患者数	1 P
	（別表） 傷病名対応表	2 P
②	年齢階級別推計入院患者数・推計外来患者数	3 P
③	年齢階層別社会復帰施設入所者数	4 P
④	外来受診者の年齢階層別状況(ニーズ調査)	5 P
⑤	社会復帰施設入所者の年齢階層別状況(ニーズ調査)	8 P
⑥	65歳以上の利用施設別状況(ニーズ調査)	11 P
⑦	50～64歳の利用施設別状況(ニーズ調査)	12 P
⑧	20～49歳の利用施設別状況(ニーズ調査)	13 P
⑨	19歳以下の利用施設別状況(ニーズ調査)	14 P
⑩	我が国の入院患者グループ	15 P
⑪	我が国の入院患者に係る現状認識	16 P

疾病別推計入院患者数・推計外来患者数

平成11年10月19日～21日の3日間のうち医療施設(病院の入院及び一般診療所の入院・外来については7/10、病院の外来においては3.3/10の抽出率で層化無作為抽出)毎に指定した1日に実施された調査において、医療施設の管理者が記入する調査票に基づいて集計され、それをもとに日本における患者の状況毎の患者数を推計したものである。



資料:厚生労働省
患者調査(H11)



資料:厚生労働省
ニーズ調査(H15)

- 痴呆(アルツハイマー型を除く)
- アルコール障害
- アルコール以外の物質による精神障害
- ▣ 精神分裂病(統合失調症)
- 感情障害(躁鬱病を含む)
- 神経症・ストレス関連障害
- 精神遅滞
- ▣ その他

調査協力が得られた医療機関において、調査対象期間の全入院患者から無作為に抽出(20%抽出)した患者を調査対象とした。なお、各医療機関で確実に無作為抽出がなされる為に、生年月日の日付の末尾が「調査実施手順」で指定した数字の入院患者全員を調査対象とした。

調査協力が得られた医療機関において、調査対象期間のうちの全診療日に外来を受診した全患者から無作為に抽出して(10%抽出、但し、日精診加盟診療所、自治体病院、大学病院は5%抽出)調査対象とした。抽出方法については、来院患者に受付順に番号を付け、「調査実施手順」で指定した受付番号の患者を調査対象患者とするように各医療機関に依頼した。

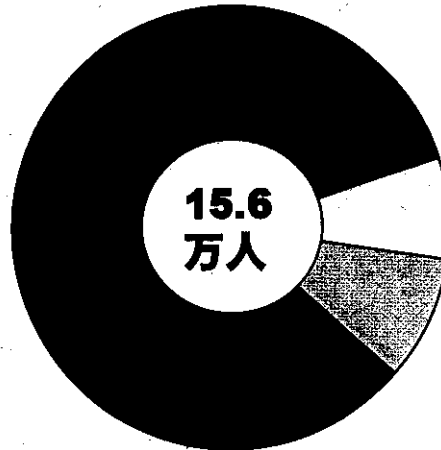
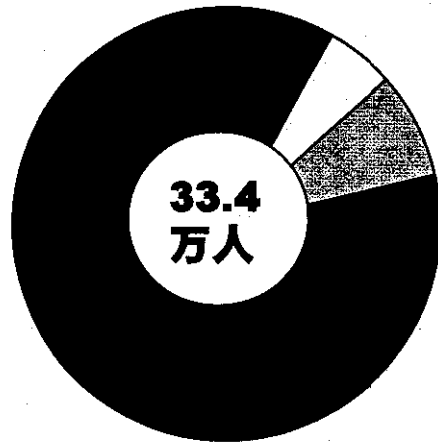
(別表)

傷病名対応表

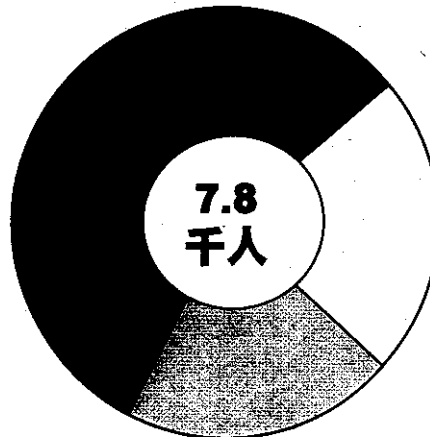
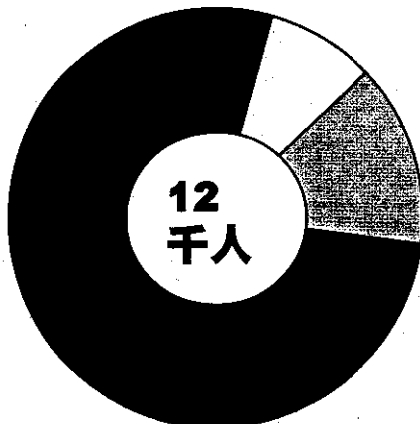
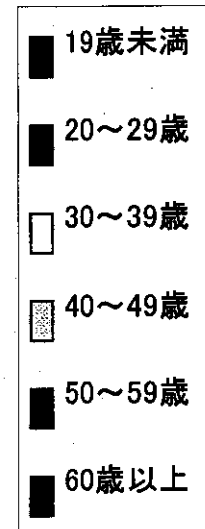
本表	患者調査	ニーズ調査
痴呆性疾患	血管性及び詳細不明の痴呆 アルツハイマー病	痴呆性疾患
アルコールによる障害	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害	アルコールによる精神・行動の障害
その他の精神作用物質による障害	その他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害	その他の精神作用物質による精神・行動の障害
精神分裂病等	精神分裂病, 分裂病型障害及び妄想性障害	統合失調症(精神分裂病) その他の精神病性障害
感情障害	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	気分(感情)障害
神経症等	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	神経症性・ストレス関連・身体表現性障害
てんかん	てんかん	てんかん
精神遅滞	精神遅滞	精神遅滞
その他	その他の精神及び行動の障害	その他の症状性を含む器質性精神障害 心理的発達障害 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 成人の人格・行動の障害 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害 特定不能の精神障害

年齢階級別推計入院患者数・推計外来患者数

平成11年10月19日～21日の3日間のうち医療施設(病院の入院及び一般診療所の入院・外来については7/10、病院の外来においては3.3/10の抽出率で層化無作為抽出)毎に指定した1日に実施された調査において、医療施設の管理者が記入する調査票に基づいて集計され、それをもとに日本における患者の状況毎の患者数を推計したものである。



資料:厚生労働省
患者調査(H11)

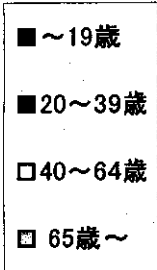
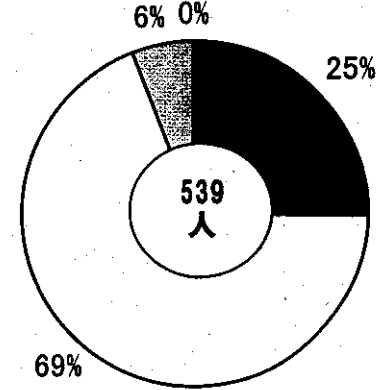
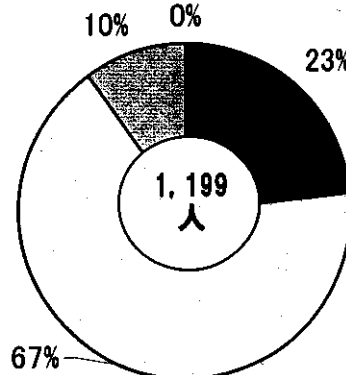
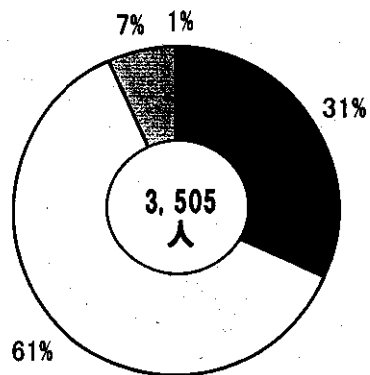
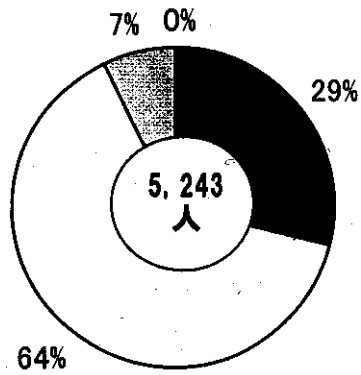


資料:厚生労働省
ニーズ調査(H15)

調査協力が得られた医療機関において、調査対象期間の全入院患者から無作為に抽出(20%抽出)した患者を調査対象とした。なお、各医療機関で確実に無作為抽出がなされる為に、生年月日の日付の末尾が「調査実施手順」で指定した数字の入院患者全員を調査対象とした。

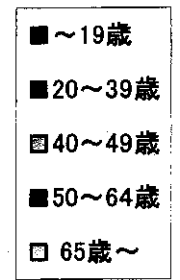
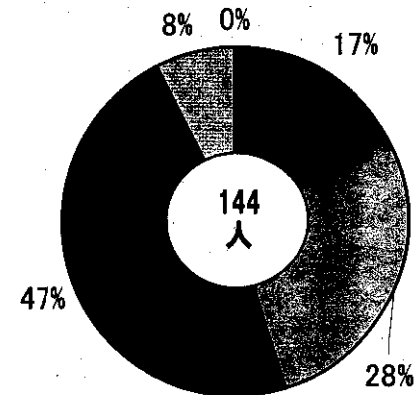
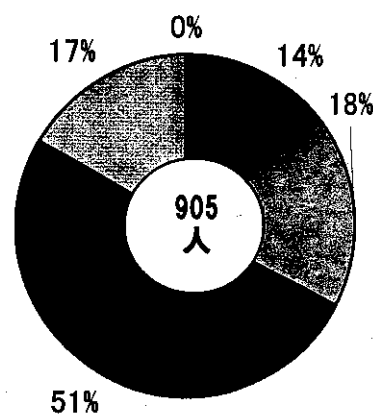
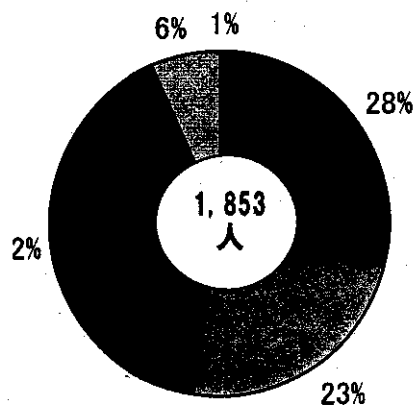
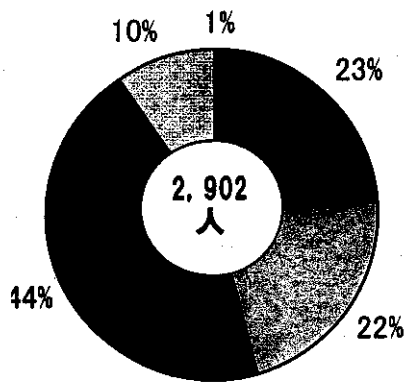
調査協力が得られた医療機関において、調査対象期間のうちの全診療日に外来を受診した全患者から無作為に抽出して(10%抽出、但し、日精診加盟診療所、自治体病院、大学病院は5%抽出)調査対象とした。抽出方法については、来院患者に受付順に番号を付け、「調査実施手順」で指定した受付番号の患者を調査対象患者とするように各医療機関に依頼した。

年齢階層別社会復帰施設入所者数



資料：厚生労働省
630調査(H12)

..... 合計 生活訓練施設 福祉ホーム 入所授産施設

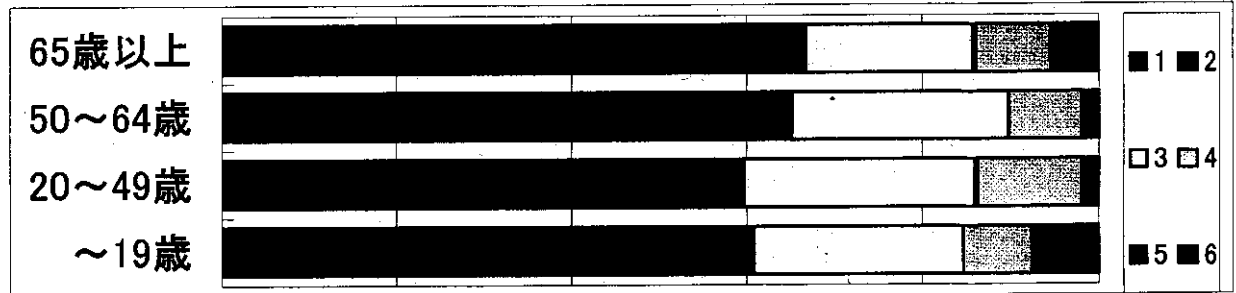


資料：厚生労働省
二一才調査(H15)

外来受診者の年齢階層別状況(ニーズ調査)①

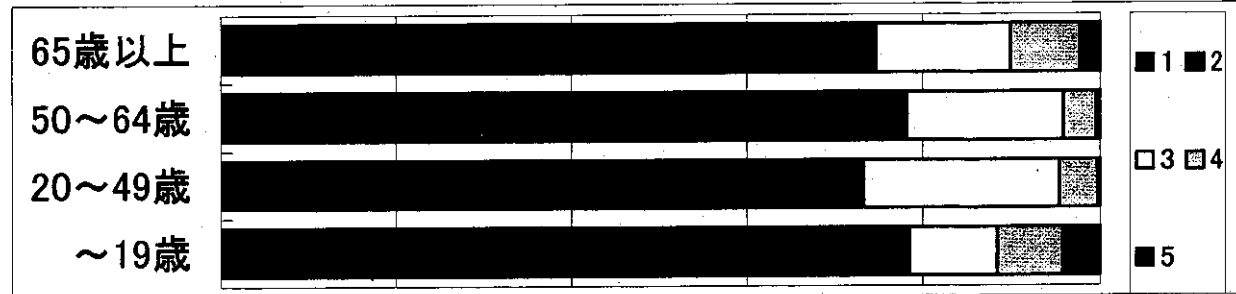
(1)精神症状等

	1	2	3	4	5	6
65歳以上 (1,104人)	39.2%	27.6%	19.4%	8.5%	4.8%	0.5%
50~64歳 (2,228人)	35.9%	29.3%	24.6%	8.3%	1.8%	0.1%
20~49歳 (4,403人)	29.1%	30.6%	26.6%	11.8%	1.8%	0.1%
~19歳 (121人)	38.3%	22.5%	24.2%	7.5%	4.2%	3.3%



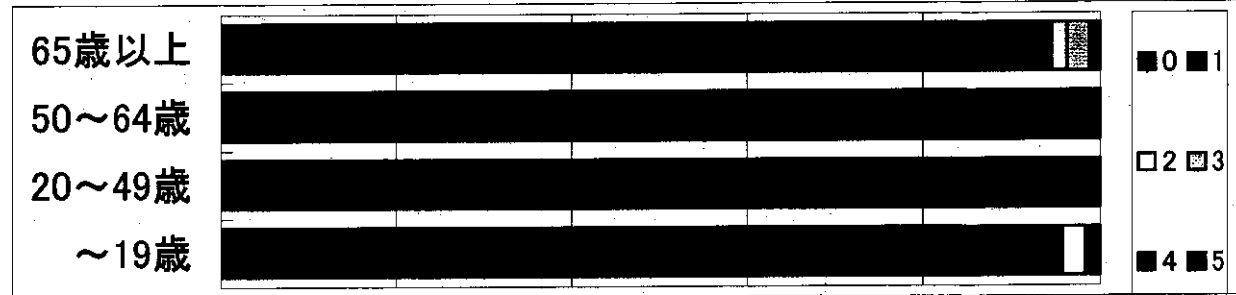
(2)日常生活能力

	1	2	3	4	5
65歳以上 (1,104人)	47.3%	27.3%	15.3%	7.8%	2.3%
50~64歳 (2,228人)	41.3%	36.9%	17.7%	3.7%	0.4%
20~49歳 (4,403人)	34.2%	39.1%	22.2%	4.2%	0.3%
~19歳 (121人)	39.7%	38.8%	9.9%	7.4%	4.1%



(3)ADL得点

	0	1	2	3	4	5
65歳以上 (1,104人)	93.2%	1.3%	1.8%	2.5%	0.6%	0.6%
50~64歳 (2,228人)	99.1%	0.3%	0.2%	0.3%	0.1%	0.1%
20~49歳 (4,403人)	99.5%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.2%
~19歳 (121人)	95.0%	0.8%	2.5%	0.0%	0.8%	0.8%



※1 精神症状は、

1=目立たない、2=安定化、3=中等度、4=中等度から重度、5=粗大な欠陥、6=自傷他害

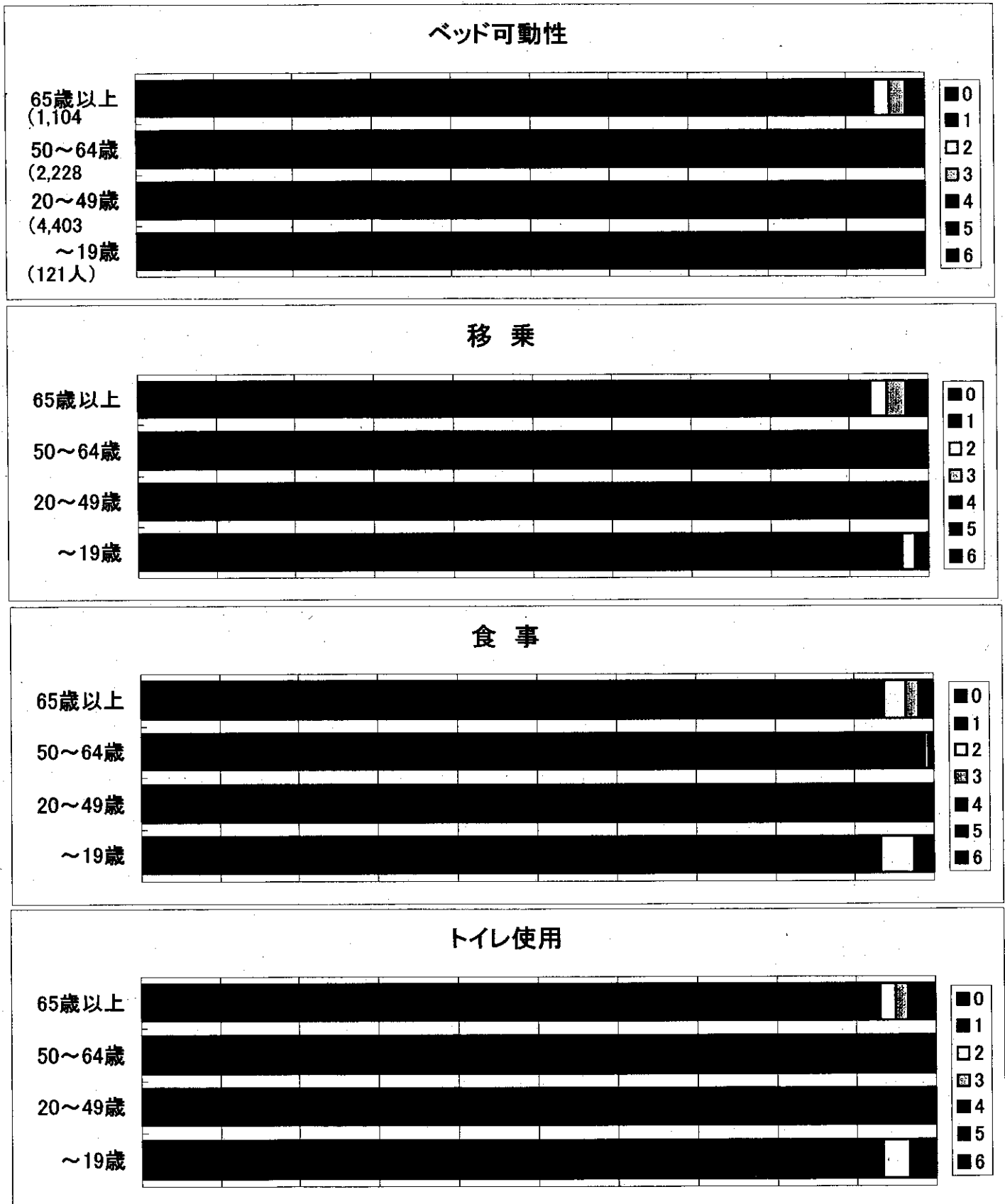
※2 日常生活能力は、

1=普通に生活、2=一定の制限、3=著しい制限、4=要援助、5=日常生活不可

※3 ADL得点は、0=自立、1~5は、点数が5~18を5区分したもの

外来受診者の年齢階層別状況(ニーズ調査)②

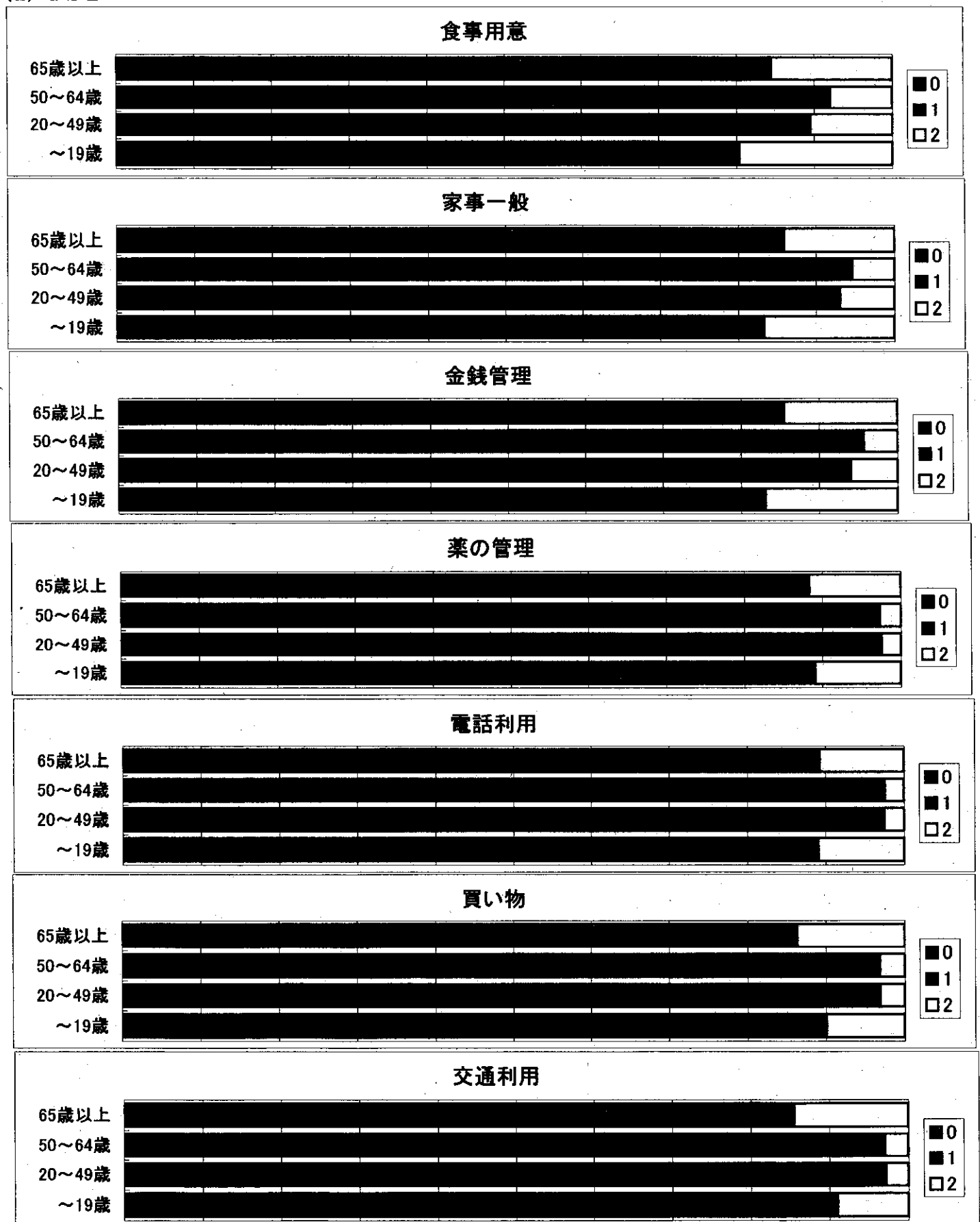
(1) ADL



※1 ADL得点は、0 自立、1 準備のみ、2 観察、3 部分的な援助、4 広範な援助、5 最大の援助、6 全面依存

外来受診者の年齢階層別状況(ニーズ調査)③

(2) IADL



※2 IADLは、0 問題ない、1 いくらか困難、2 非常に困難